



母子健康手帳を通じた母子保健サービス向上プロジェクト通信

2021年8月号

◆コミュニティ啓発活動◆

プロジェクトの活動の大きな柱の一つに、「コミュニティ啓発活動」があります。母子健康手帳の導入時には、保健施設での母子保健サービスの質向上のため、医療従事者向け研修や M&S 行っています。そして、保健施設側での活動と同時に、コミュニティに働きかけて、産前健診や分娩、小児健診、予防接種等の必要なタイミングでの保健施設の受診を促していく必要があります。アンゴラのコミュニティでは、コミュニティヘルスワーカーである ADECOS (Agentes de Desenvolvimento Comunitário e Sanitário/地域・健康開発ワーカー) が活躍しています。ADECOS は住んでいる地域の村長 (Soba) に任命された若者たちで、その地域での健康教育や家庭訪問を行っています。また、一部の地域では、マラリアの検査や治療薬の配布も実施しています。

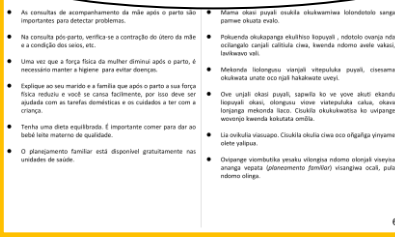
プロジェクトでは、ADECOS と協力して、コミュニティ啓発活動を行うこととしました。まずは、コミュニティのリーダーの方々 (村長、教員、宗教リーダー等) を招いたアドボカシー会合を行い、続いて ADECOS への研修を行う予定です。ADECOS が使用する教材として、健康教育に活用できる紙芝居型のフリップチャートと各家庭に配布するカレンダー付の啓発ポスターを作成しました。コミュニティ啓発活動やこれら教材の作成にあたって、母子健康手帳委員会を開いて、コミュニティ啓発活動の方法やポスターとフリップチャートについての意見を募りました。6月2日の委員会には29名が、7月28日の委員会には23名が参加し、意見交換しました。ヘルスプロモーション部署の方々や、ADECOS と一緒に活動を行った経験のある開発パートナーの方々からも意見を得て、国家公衆衛生局のプライマリーヘルスケア部と栄養部署がコメントの反映を行いました。また、コミュニティの多くの方々にメッセージが届くよう、ベンゲラ州保健局の Angelina さんとナショナルスタッフの Lino が中心となって、パイロット市で主に使用されている現地語 (ウンブンドウ語) にも翻訳しました。こうして、多くの方々の想いが詰まったポスターとフリップチャートが完成しました。コミュニティ啓発活動を9月からパイロット市で試行する予定です。

フリップチャート表紙



フリップチャート説明文側

左がポルトガル語、右が現地語



カレンダー付啓発ポスター

◆ルアンダ州新人医療従事者研修終了◆

ルアンダ州で実施していた新人医療従事者研修が終了しました。2月にキサマ市、3月にタラトナ市、6月にベラス市、7月にカクアコ市で行いました。やる気に満ち溢れた新人医療従事者の方々は、毎年続々と各保健施設に配置されています。新人医療従事者をどの機関が、どのように教育していくかについては、大きな課題があります。プロジェクトでは医療従事者に対する持続可能な母子健康手帳の研修方法について、国家公衆衛生局や州保健局と引き続き協議予定です。

